

2. 専門基礎分野

専門基礎分野目標：人体を系統立てて理解し、健康・疾病・障害に関する観察力、判断力を強化する。また、健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できるように必要な知識と基礎的能力を養う。

人体の構造と機能

科目名	解剖学		教育内容	専門基礎分野 人体の構造と機能
担当講師	Ⓜ		単位数 (時間)	2 単位 (60 時間) <1 年前後期>
科目目標	人体の正常な形態、構造について系統的に学び、生命現象の意味を看護学の視点で理解する。 設定理由 人体の構造を正常な状態を系統的に理解し、看護の視点で使えるように総合的に学ぶ。			
科目概要	回数	科目内容		学習方法
	1～15 時間外	序章 人体の構造と機能を学ぶために 第1章 解剖生理学のための基礎知識 第7章 身体の支持と運動 (最初から 369 ページまで) 解剖学①試験・まとめ		講義
	16～30 時間外	第4章 血液の循環とその調節 第8章 情報の受容と処理 解剖学②試験・まとめ		
	時間外	体表観察 (解剖見学含む)		演習
評価方法	2 回の筆記試験 (平均点) で評価する。			
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 講義サブテキスト			

科目名	生理学		教育内容	専門基礎分野 人体の構造と機能
担当講師	Ⓜ		単位数 (時間)	2 単位 (60 時間) <1 年前後期>
科目目標	人体の正常な機能について系統的に学び、生命現象の意味を看護学の視点で理解する。 設定理由 人体の構造を振り返りながら正常な状態の機能を系統的に理解し、看護の視点で使えるように総合的に学ぶ。			
科目概要	回数	科目内容		学習方法
	1～15 時間外	第2章 栄養の消化と吸収 第3章 呼吸と血液のはたらき 第5章 体液の調節と尿の生成 生理学①試験・まとめ		講義
	16～30 時間外	第10章 生殖・発生と老化のしくみ 第7章 身体の支持と運動 (369 ページ以後・筋の収縮のメカニズム) 第6章 内臓機能の調節 第9章 身体機能の防御と適応 生理学②試験・まとめ		
評価方法	2 回の筆記試験 (平均点) で評価する。			
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 講義サブテキスト			

科目名	生化学・栄養学		教育内容	専門基礎分野 人体の構造と機能
担当講師	Ⓜ		単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <1 年後期>
科目目標	<p>人間の生命現象を化学的に理解するとともに、人間にとって栄養の意義及び栄養状態の判定方法を学び看護における栄養の意義を理解する。</p> <p>1. 栄養素のはたらきと体内における代謝のメカニズムが理解できる。</p> <p>2. 栄養のアセスメントの重要性が理解できる。</p> <p>3. 生活習慣病の予防と臨床栄養の現場での活用について考えることができる。</p> <p>設定理由 人体の構成成分である物質代謝や栄養について理解し、生体内の恒常性機能について学び、健康増進に必要なライフサイクルに応じた栄養について理解する。</p>			
科目概要	回数	科目内容		学習方法
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	炭水化物 脂質 タンパク質・核酸 ビタミン 無機質と水 食物繊維 ホルモン・酵素 栄養素の消化・吸収 糖質代謝 脂質代謝 タンパク質代謝 核酸代謝 ポルフィリン代謝 エネルギー代謝 日本人の食事摂取基準 ライフステージと栄養 栄養状態の評価・判定と栄養ケア・マネジメント 健康づくりと食生活 食事と食品 臨床栄養 終講試験およびまとめ		講義
評価方法	1 回の筆記試験により評価する。			
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 生化学 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 医学書院			

疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	Ⓜ		教育内容	基礎分野人体の構造と機能
担当講師	勝谷 友宏・日下 泰徳・北原 正大		単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <1 年前期>
科目目標	<p>人体組織における病的状態の原因、発生機序、経過について学び疾病の成り立ちについて看護学の視点で理解する。</p> <p>設定理由 正常な人体の構造と機能の理解をもとに健康障害と回復過程の視点から科学的に健康状態を査定するための概要を学ぶ。</p>			
科目概要	回数	科目内容		担当講師
	1 2 3・4 5・6 7 8 9・10 11 12・13 14 15	第1章 病理学で学ぶこと 第2章 細胞・組織の障害と修復 第3章 循環障害 第6章 代謝障害 第7章 老化と死 第8章 先天異常と遺伝子異常 第4章 炎症と免疫 膠原病 移植と再生医療 第5章 感染症 第9章 腫瘍 臨床検査の基礎 臨床でよく行う検査 終講試験およびまとめ		勝谷 日下 北原 内部教員
評価方法	1 回の筆記試験により評価する。			
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院 電子辞書；臨床検査データブック			

科目名	治療論		教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	
担当講師	Ⓜ		単位数(時間)	1単位 (30時間) <1年後期>	
科目目標	医療における共通の治療技術について学び、各機能障害別の病態治療論へ関連づける。				
科目概要	回数		科目内容	担当講師	学習方法
	①	1 2	手術療法 ：外科治療の基礎、救急医療、麻酔・輸血など 医学的治療	杉本	講義
	②	3 4 5	放射線療法 ：放射線治療の目的・種類と特性、 適応と人体への影響	鈴木	講義
	③	6 7 8	理学療法 ：リハビリテーション概論 障害に対する理解 日常生活動作（評価） ROM、MMT 評価とリハビリテーション	本田	講義 演習
	④	9 10 11 12 13 14	食事療法 ：食事療法の重要性、病人食の特徴、 循環器疾患・消化器疾患・腎疾患・代謝疾患・ 糖尿病患者の食事療法 食品交換表・成分表 の使い方 調理実習（エネルギーコントロール食）	山本	講義 調理実習
		15	終講試験およびまとめ	内部教員	
評価方法	1回の筆記試験により評価する。				
教科書	① 系統看護学講座別巻臨床外科看護総論 医学書院 ② 新体系看護学別巻 13 治療法概説 メヂカルフレンド ③ 系統看護学講座別巻 リハビリテーション看護 医学書院 ④ 系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院 糖尿病食事療法のための食品交換表 糖尿病学会 文光堂				

科目名	病態治療論 I		教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	
担当講師	Ⓜ		単位数(時間)	1単位 (30時間) <1年後期>	
科目目標	呼吸機能障害、循環機能障害のメカニズムを捉え主な疾患の病態・治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。				
科目概要	回数		科目内容	担当講師	学習方法
	①	1 2 3 4 5	呼吸機能障害内科 ： 呼吸器の構造と機能、主要症状と検査、上気道・気 管支の疾患、肺・胸膜・縦隔膜の主な疾患と内科的 治療	朝田	講義
	②	6 7	呼吸機能障害外科 ： 肺腫瘍・自然気胸・胸部外傷などの病態と外科的 治療	松岡	講義
	③	8 9 10 11	循環機能障害内科 ： 循環器の構造と機能、主要症状と検査 後天性心疾患（リウマチ熱・心膜炎・虚血性心疾患 など）血圧異常・不整脈の病態と内科的治療	舛谷	講義
	④	12 13	循環機能障害外科 ： 先天性疾患・心臓弁膜症・血管の疾患、心臓・血管 手術と術後管理	吉澤	講義
		14 15	国家試験対策 学習とまとめ 終講試験	内部教員 内部教員	
評価方法	1回の筆記試験により評価する。				
教科書	①② 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学[2] 呼吸器 医学書院 ③④ 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学[3] 循環器 医学書院				

科目名	病態治療論Ⅱ	教育内容	専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	
担当講師	㊦		単位数(時間)	1単位(15時間) <1年後期>	
科目目標	消化吸収のメカニズムを捉え、主な疾患の病態・治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。				
科目概要	回数		科目内容	担当講師	学習方法
	①	1・2 3	消化吸収機能内科： 消化器の構造と機能、主要症状と検査 胃・十二指腸潰瘍、腸閉塞、膵炎、肝炎、肝硬変、 食道静脈瘤の病態と内科的治療	成田	講義
	②	4・5 6	消化吸収機能外科： 腸閉塞・胆石・腫瘍などの病態と外科的治療 急性腹症、腹部外傷	杉本	
		7	国家試験対策 学習とまとめ	内部教員	
		7.5	終講試験	内部教員	
評価方法	1回の筆記試験により評価する。				
教科書	① ② 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学[5]消化器 医学書院				

科目名	病態治療論Ⅲ	教育内容	専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	
担当講師	㊦		単位数(時間)	1単位(30時間) <1年後期>	
科目目標	排泄機能、内分泌・代謝、血液・造血器、アレルギー膠原病のメカニズムを捉え、主な疾患の病態・治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。				
科目概要	①	1・2 3	排泄機能障害腎内科： 腎臓の構造と機能、主要症状と検査 腎機能障害による腎疾患の病態と治療	長谷川	講義
	②	4・5	排泄機能障害泌尿器科： 泌尿器系の機能障害による病態と治療	尾上	
	③	6・7 8	内分泌・代謝機能障害： 主な内分泌疾患と代謝疾患の病態と治療	池田	
	④	9・10 11	血液造血器機能障害： 赤血球系・白血球系・リンパ網内系疾患、 異常タンパク血症・出血性疾患の病態と治療	児玉	
	⑤	12・13	おもな感染症疾患： HIV/AIDS、敗血症 アレルギー膠原病： 主なアレルギー疾患の症状と病態と治療、膠原病 の病態と治療	土田	
		14	国家試験対策 学習とまとめ	内部教員	
		15	終講試験およびまとめ	内部教員	
評価方法	1回の筆記試験により評価する。				
教科書	①② 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学[8]腎・泌尿器 医学書院 ③ 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学[6]内分泌・代謝 医学書院 ④ 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学[4]血液・造血器[11]アレルギー膠原病感染症 講義サブテキスト ⑤ 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学[11]アレルギー膠原病感染症 医学書院				

科目名	病態治療論Ⅳ	教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	
担当講師	Ⓜ		単位数(時間)	1単位(15時間) <1年後期>
科目目標	脳神経機能障害のメカニズムを捉え主な疾患の病態・治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。			
科目概要	①	1・2 3・4	脳神経機能障害内科： 脳の構造と機能、主要症状と検査脳血管障害、髄膜疾患、脳・神経系の変性疾患、その他末梢神経疾患、脳・神経系感染症、てんかんの病態と内科的治療	原 松本
	②	5・6	脳神経機能障害外科： 脳血管障害、脳腫瘍、脳の感染症、頭部外傷、脊髄疾患の病態と外科的治療	内部教員 内部教員
		7 7.5	国家試験対策 学習とまとめ 終講試験	
評価方法	1回の筆試験により評価する。			
教科書	①② 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学[7]脳・神経 医学書院			

科目名	病態治療論Ⅴ	教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	
担当講師	Ⓜ		単位数(時間)	1単位(15時間) <1年後期>
科目目標	運動機能障害、歯・口腔機能のメカニズムを捉え主な疾患の病態・治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。			
科目概要	回数	科目内容		担当講師
	①	1・2 3・4	運動機能障害： 骨折、脱臼・捻挫及び打撲、骨・関節の炎症性疾患、骨腫瘍、骨系疾患、代謝性骨疾患の病態と治療	山岸
	②	5・6	歯・口腔機能障害： 歯の異常・歯周組織の疾患、口腔領域の疾患と治療	松岡
		7 7.5	国家試験対策 学習とまとめ 終講試験	内部教員 内部教員
評価方法	1回の筆記試験により評価する。			
教科書	① 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学[10]運動器 医学書院 ② 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学[15]歯・口腔 医学書院			

科目名	病態治療論Ⅵ	教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	
担当講師	Ⓜ		単位数(時間)	1単位(30時間) <1年後期>
科目目標	女性生殖器・眼・耳鼻咽喉・皮膚機能のメカニズムを捉え、主な疾患の病態・治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。			
科目概要	回数	科目内容		担当講師
	①	1 2 3 4	女性生殖機能障害： 性行為感染症、性教育 主な女性生殖疾患の病態と治療	末包 武居
		5	乳腺の疾患と治療(外科的)	宮内
	②	6 7	皮膚機能障害： 主な皮膚疾患の病態と治療	樋上
	③	8 9 10	眼の機能障害： 主な眼の疾患の病態と治療	横谷
	①	11 12 13	耳鼻・咽喉の機能障害： 主な耳鼻・咽喉の疾患の病態と治療	尾上
		14 15	国家試験対策 学習とまとめ 終講試験およびまとめ	内部教員 内部教員
評価方法	1回の筆記試験により評価する。			
教科書	① 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学[9]女性生殖器 医学書院 ② 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学[12]皮膚 医学書院 ③ 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学[13]眼 医学書院 ④ 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学[14]耳鼻咽喉 医学書院			

科目名	微生物学	教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進
担当講師	⑤	単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <1 年前期>
科目目標	微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解し、臨床上に重要な感染症に対する予防策について学ぶ。 設定理由 微生物と生体の関係を明確にし、看護の視点で現在の感染症が強毒菌による頻度の低下と耐性菌の脅威の中にあることを理解する。		
科目概要	回数	科目内容	学習方法
	1 2 3 4 5 6 7 8・9 10・11 12 13 14 15	微生物学へのイントロダクション 微生物のアウトライン 微生物の感染 免疫 滅菌と消毒 化学療法 感染症の予防 微生物学的検査法 細菌学各論 ウイルス学各論 真菌学各論・原虫学各論 細菌の観察 終講試験およびまとめ	講義
評価方法	1 回の筆記試験により評価する。		
教科書	ビジュアル微生物学 ヌーベルヒロカワ		

科目名	薬理学	教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	
担当講師		単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <1 年後期>	
科目目標	薬物の特性、作用・副作用、生体に及ぼす影響について学び薬物使用・管理について理解する。 設定理由 薬物の薬理作用及び人体への影響と薬物管理について学び臨床で有害作用を早期発見・対応できるようにする。			
科目概要	回数	科目内容	担当講師	学習方法
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	第 1 章 薬理学の基礎知識 第 1 章 薬理学の基礎知識 第 2 章 末梢神経作用薬 第 3 章 中枢神経作用薬 第 3 章 中枢神経作用薬 第 3 章 中枢神経作用薬 第 4 章 オータコイド・アレルギー薬 第 15 章 薬・毒物中毒の処置 第 5 章 心臓血管系作用薬 第 6 章 血液造血系作用薬、第 7 章 呼吸器系作用薬 第 8 章 消化器系作用薬、第 9 章 生殖系作用薬 第 10 章 物質代謝作用薬 第 11 章 抗感染症薬 第 12 章 抗悪性腫瘍薬 第 14 章 生物学的製剤と診断用薬 終講試験およびまとめ	菊池 西村	講義 講義
評価方法	1 回の筆記試験により評価する。			
教科書	薬理学 サイオ出版			


健康支援と社会保障制度

科目名	総合医療論		教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度
担当講師		単位数 (時間)	1 単位 (15 時間) <1 年前期>	
科目目標	1. 健康の概念を理解し健康の成立条件について理解する。 2. 医療の成り立ちと患者の権利、高度先端医療と医の倫理について学ぶ。 設定理由 健康への理解を深め、自らの健康について考え生活者の健康への理解を深める。また、高度・包括医療の進展、ニーズの多様化に伴う医療について理解する。			
科目概要	回数	科目内容		学習方法
	1 2 3 4 5 6 7 7.5	人間とは何か 医療とは何か 医療史 その1 医学・医療のあゆみ 医療史 その2 健康と疾病 加齢 医学と医療 医療用語 医療供給体制 現代医療 生命倫理・医療倫理 研究発表 (グループワーク) 終講試験		講義 演習
評価方法	1 回の筆記試験により評価する。			
教科書	新体系看護学 現代医療論 メヂカルフレンド社			

科目名	公衆衛生学		教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	
担当講師	Ⓜ	単位数 (時間)	2 単位 (30 時間) < 2 年前期後期 >		
科目目標	社会における公衆衛生学の目的を医療・看護の視点から捉え、健康的な生活、福祉社会をつくりあげる重要性、活動について理解する。 設定理由 人々の健康の保持増進のために公衆衛生活動と現代医療の諸問題と在り方について学び、看護の役割を考える。人間を取り巻く環境について現状と問題を理解し対策や活動の理解を深める。				
科目概要	回数	科目内容		担当講師	学習方法
	1 2 3 4 5 6 7 7.5	序章 公衆衛生を学ぶにあたって 第1章 公衆衛生のエッセンス 第2章 公衆衛生の活動対象 第3章 公衆衛生のしくみ 第4章 集団の健康をとらえるための手法 ー疫学・保健統計ー 第5章 環境と健康 第7章 国際保健 終講試験		北	講義
	1 2 3 4 5 6 7 7.5	第6章 感染症とその予防 第8章 地域における公衆衛生の実践① 地域における公衆衛生の実践② 地域における公衆衛生の実践③ 第9章 学校と健康 第10章 職場と健康 第11章 健康危機管理・災害保健 終講試験		森田	講義
評価方法	2 回の筆記試験 (平均点) で評価する。				
教科書	系統看護学講座 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向				

科目名	社会福祉		教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度
担当講師			単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <2 年前期>
科目目標	社会保障制度及び社会福祉の理論と制度を知り保健医療福祉との連携の必要性と活用方法を理解する。 設定理由 社会保障制度の意義や社会資源の活用を知り、継続看護のコーディネーターとしての自覚と責任を学ぶ。			
科目概要	回数	科目内容		学習方法
	1 2 3 4・5 7 8・9 10・11 12・13 14 15	社会保障制度と社会福祉制度 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 医療保障制度 介護保険制度 (制度、特定、申請、認定、サービス、介護予防事業) 権利擁護 所得保障 公的保障 年金・生活保護 社会福祉とサービス ~高齢者・障がい者・児童家庭福祉~ 社会福祉実践と医療・看護 (自立支援法、老人福祉、成年後見制度、権利擁護などの復習含む) 社会福祉の歴史 終講試験およびまとめ		講義
評価方法	1 回の筆記試験で評価する。			
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 医学書院			

科目名	関係法規		教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度
担当講師			単位数 (時間)	2 単位 (30 時間) <2 年後期>
科目目標	1. 看護業務に携わる人の身分や業務に関する法を理解する。 2. 国民の健康な生活を維持するために必要な法令を理解する。 設定理由 生活が法によって守られ、つくられる現状を理解し、看護職に必要な法令の解釈と活用法について理解する。			
科目概要	回数	科目内容		学習方法
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	看護師が法律を学ぶ目的 学習内容の概要 看護を取り巻く社会の現況と看護の対象および看護者の人生 重要な法改正 生命の始期・終期を考える (法と倫理の礎) 看護行為の法的性格についての考察 看護職・看護学生にとっての基本法；保健師助産師看護師法の解釈 現行法規総覧・衛生法規一覧・保健衛生法規 予防衛生法規・医事関係法規・薬事関係法規 環境衛生法規・公害関係法規・労働関係法規・学校関係法規 社会保障制度の概要・社会保障制度の概説 公的扶助制度の概説 社会福祉制度の概説 (概要→児童福祉→母子福祉) 社会福祉制度の概説 (障害福祉→高齢者福祉) 社会福祉制度の概説 (被災者福祉→貧困者福祉→補遺) 医療関連の手帳・記録 医療・福祉に関する施設一覧 終講試験およびまとめ		講義 演習
評価方法	1 回の筆記試験で評価する。			
教科書	看護学生のための法規と社会保障制度 ふくろう出版			

「」は、実務経験を有する教員